

## 3つの目で見た郷土香川《第22回》

### ～屋嶋城紀行～

今回は、屋嶋城（やしまのき）跡城門（復元）が2016（平成28）年3月19日に一般公開されたのを機会に古代山城であった屋嶋城跡を散策してきました。屋嶋はメサ溶岩台地であり、山上が水平に硬い溶岩で覆われているため、周囲下部の柔らかな花崗岩が浸食されても残ったことにより現在の姿となりました。

屋嶋南嶺の屋嶋寺と旧屋嶋ケーブルの屋嶋山上駅跡のほぼ中間ぐらいに復元された城門は、外側に2.5mの段差（懸門／けんもん）があり、敵の侵入を防止していました。

それでは平時の出入りの時には、ハシゴをかけて出入りしていたようで、日常の使い勝手は芳しくなさそうです。城門の段差の間には、城内の排水口があり、高松市の発掘調査では城門内部に排水溝が存在していました。城門上部には甕城（おうじょう／左最下段写真参照（現地説明板より））があったと推定されています。城壁の上部もあわせて兵士が行き来する事ができ警備がしやすかった模様です。

城壁は標高270m前後の位置にあるため、本誌表紙写真のように高松平野が一望でき、遠方からの敵の様子もわかりやすいものと思われます。なおこの表紙写真の見える近いところは、元来遠浅の海であったので屋嶋自体は瀬戸内海に浮かぶ本当の意味での島でした。現在のように陸地になったのは、江戸時代初期の干拓などによるものです。しかしながら屋嶋の南側には相引（あいびき）川という人工の川で分かれており、一応現在も島なのでしょうか……。

屋嶋城跡は城門跡のある南嶺、そして北嶺あわせて周囲7kmの大半が天然の要塞であり、その様子は次ページの獅子の霊巖（ししのれいがん／左最上写真参照）、談古嶺（だんこれい／左上2番目参照）、南嶺から北嶺を眺め（右最下段写真参照）のそれぞれからの写真のように眺めが大変よく、城壁などの人工物は全体の1割程度と推測されております。

屋嶋城の築城の歴史的背景については、663（天智2）年の朝鮮半島西南部の白村江（はくすきのえ）で倭国（日本）・百濟（くだら）連合軍と唐・新羅（しらぎ）





連合軍の海戦で、倭国・百濟連合軍は大敗してしまい、約 300 年にわたって続いた倭国の朝鮮半島進出も終焉を迎えました。唐・新羅の侵攻を恐れた天智天皇が防衛体制整備の一環として、大野城（おおののき／福岡県）、金田城（かねたのき／長崎県対馬）、高安城（たかやすのき／奈良県）などの古代山城（朝鮮式山城）が対馬から畿内にかけて広範囲に築城され、屋嶋城は 667（天智 6）年に築城、701（大宝元）年の大宝律令制定、702（大宝 2）年の遣唐使の派遣で唐と白村江の戦い以後対立関係だった両国の正式な国交回復の動きなどで、古代山城の存在意義が薄れ、少なくとも 8 世紀初頭には屋嶋城は廃城されたと推定されています。

屋嶋城の主要遺構である兵舎跡、食糧貯蔵のための倉庫跡、飲料水確保のための貯水池などは他の古代山城の遺構では確認されているが、屋嶋城でも少量ながら出土しています。ただ 8 世紀中期という早い時期に屋嶋寺（四国霊場第 84 番札所）が創建され、明治以後、特に 1934（昭和 9）年の瀬戸内海国立公園指定以後の観光地開発などで、主要遺構の確認が

難しい状況ですが、主要遺構が存在していた可能性があるとされています。

屋嶋城は、南嶺と北嶺の山上の城壁、南嶺と北嶺を分ける谷奥の石塁の二重防衛線を構築されていたのが確認されています。本ページ左上最上段写真の浦生（うろ／屋嶋西岸（高松市街地側））集落から右下に続く、上流部の標高 100 ㍎の谷奥にある浦生石塁があり、1980（昭和 50）年の高松市の発掘調査で全長 90 ㍎、石塁の底辺幅 9 ㍎、天幅 4 ㍎、高さ 4 ㍎で北側に台状の張出で侵入する敵を防止できる構造になっています。この当時屋嶋城の遺構は本石塁だけであり、山上に巡る外郭城壁とは異なっていたため、実態不明な古代山城とされていました。その後 2002（平成 14）年 2 月に、南嶺山上の現在地において城門遺構が確認され、日本書紀の記述にある屋嶋城の存在を確固たるものとなりました。それは幅 5.4 ㍎、奥行 10 ㍎の城門遺構であり、大野城太宰府口城門に次ぐ最大規模級をもつものです。

現在の城門復元の経過については、恒久的保存と価値の顕在化を目指して 2007（平成 19）年度から高松市が整備事業が開始され、2004（平成 16）年度に発足していた屋嶋城跡調査検討委員会を屋嶋城跡調査整備検討委員会（2012（平成 24）年度から屋嶋城跡調査整備会議に改称）に発展させ、2008（平成 20）年度に屋嶋城跡城門整備基本構想が策定されました。この整備事業は平成 27 年度まで継続され、冒頭の一般公開の運びとなりました。

#### 《参考資料》

屋嶋城跡（高松市教育委員会／1981（昭和 56）年 3 月発行） 史跡天然記念物屋嶋（高松市教育委員会／2003（平成 15）年 3 月発行） 屋嶋城跡Ⅱ（高松市教育委員会／2008（平成 20）年 3 月発行） 屋嶋城跡（高松市教育委員会／2016（平成 28）年 5 月発行） 屋嶋風土記（屋嶋文化協会／2010（平成 22）年 3 月発行） 高松市公式HP・屋嶋の活性化サイト 屋嶋ナビHP（高松市創造都市推進局観光交流課）

